

IFX：クローン病

IFX(インフリキシマブ)

【適応】

次のいずれかの状態を示すクローン病の治療及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）
中等度から重度の活動期にある患者
外瘻を有する患者

【投与スケジュール】

	Day1	(2 週)	Day15	(4 週)	Day43	(8 週)	Day99	… (8 週毎)
インフリキシマブ 5mg/kg (10mg/kg まで 増量可) 原則 2 時間か けて投与	↓		↓		↓		↓	

初回投与後、2 週、4 週、6 週に投与し、以後 8 週間の間隔で投与を行うこと。

【用法・用量について】

6 週の投与以降、効果が減弱した場合には、投与量の増量または投与間隔の短縮が可能である。

投与量を増量する場合は 10 mg/kg を 1 回の投与量とすることができる。

投与間隔の短縮をする場合は、5 mg/kg を 1 回の投与量とし、最短 4 週間の間隔で投与することができる。

- 本剤の投与にあたっては、1.2 μ 以下のインラインフィルターを使用すること。
- 重度(Grade3以上)の Infusion reaction が現れた場合、本剤の投与を中止し、以降、本剤を投与しないこと。また Grade2 以下の Infusion reaction が現れた場合は、投与速度を減じて慎重に投与すること。
- 初回、2 回目、3 回目は 2 時間かけて投与。Infusion reaction 等が認められなければ、8 週毎の投与で投与時間の短縮(5mg/kg/h を超えない速度)が可能。